



東日本大震災、熊本地震の被災地を訪れ、その現状を伝え続ける写真家三浦寛行さん(50)＝岐阜市鷺山＝。熊本県の被災地を写した作品の

被災地の現状を写す

展示を同市神田町の岐阜信用金庫本店で開いている(7月6日まで)。「忘れちゃいけない。困っている人は、まだたくさんいる」。がれきこそなくなったものの生活の再建が完全でない被災地の今を写す中で、「関心が薄れすぎていないか」と危機感を持つ。防災士として東海3県の小学校などを訪れ、防災訓練の指導や講演も行っており「大地震にいかに対応、命を守るか、この地域の人たちにも認識を深めてもらうきっかけをつくりたい」と力を込める。